

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都港区新橋6丁目4-3 ル・グラシエルビル7号館2階
園名	こころ新橋保育園

1 活動のテーマ

<テーマ>

科学(光)

<テーマの設定理由>

日常に当たり前にあるものに興味をもち、「どうしてだろう?」「なんで?」を引き出し、そこから「こうしてみたらどうなるかな?」と探究心をもって想像力や発想力を思う存分表現して欲しいため、今回の研究テーマにした。

2 活動スケジュール

- ・8/19(火)…水遊びでの光の反射①
- ・8/26(火)…水遊びでの光の反射②
- ・9/10(水)…水遊びでの光の反射と影③
- ・9/18(木)…ライトテーブル、懐中電灯を使った光と影あそび①
- ・11/4(火)…ライトテーブル、懐中電灯を使った光と影あそび②
- ・12/3(水)…ワークショップ(サンキャッチャー作り)
- ・12/4(木)、12/5(木)…サンキャッチャー、光の色が見えるシートを使っての光あそび
- ・1/14(水)…LED ライトを使った牛乳パックのランタン作り①
- ・1/20 (火) …LED ライトを使った牛乳パックのランタン作り②
- ・2/19(木)…万華鏡作り①
- ・2/25(水)…万華鏡作り②(光と模様の変化を楽しむ)

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・水遊びでの光の反射…クリアケース、懐中電灯、透明カップ、色水、鏡
→①では4～5人ずつ別室でじっくり遊べるようにした。
②～③では、友だちと発見したことを共有できるように道具を用意し、自由に光あそびを楽しんだ。

・光と影あそび…ライトテーブル、懐中電灯、カラーセロハン、紙コップ、画用紙
→ライトテーブルを用意し、ライトテーブルコーナーを作った。
紙コップ、カラーセロハン、懐中電灯は自由に使えるように机に並べて用意をした。

・ワークショップ
→各クラス4～5人のグループに分かれて行った。

・LEDライトを使ったランタン作り…牛乳パック、LEDライト、花紙、ボンドを溶いた水、乾かすときのクリップ
→3～5歳児が一緒に行えるように同じテーブルにし、3～4人のグループを5つに分けて一斉に行った。

・万華鏡遊び…万華鏡キット、ハサミ、スパンコール、モール
→各クラス3～5人でそれぞれのテーブルで一斉に行った。
作り終わった後は、自由に動き、友だちと見せ合えるようにした。

4 探究活動の実践

・水遊びでの光の反射

→水遊びの中で、クリアケースと鏡を使って光を反射させ、虹を作って楽しんだ。
また、透明カップに色水を入れ、懐中電灯を様々な角度から当てて光り方を楽しんだ。

・光と影あそび

→底を開けた紙コップに好きな色のカラーセロハンを貼り、懐中電灯やライトテーブルで光を当て、光の色の変化や光り方、影の色などを楽しんだ。また、画用紙を様々な形に切り、影の大きさや形などの変化に興味をもって行った。

・ワークショップ

→クリスタルボールで沢山の虹を作ったり、CDに光を当て虹を作った。サンキャッチャーも作り、ワークショップの日には太陽が出ていなく、ビーズの色の変化が分からなかったの、室内の窓際に飾ったり、別日に戸外で楽しんだ。

・ランタン作り

→発表会の導入のごっこ遊びと絡めて行った。発表会の導入が始まっていたので、ランタンに興味をもち、意欲的に活動できた。

周りの紙を剥がした牛乳パックに好きな色の花紙をちぎってオリジナルのランタンを作り、様々な色に変化するLEDライトの中に入れて光の変化を楽しんだり、自分たちで考えて外側からも光を当てて楽しんだ。

・万華鏡遊び

→万華鏡を作った後は自由に中に入れるスパンコールやモールを選んで変化を楽しんだ。保育者の言葉掛けがなくても自分たちで試行錯誤して楽しむことができていた。

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・水遊びでの光の反射

→初めてのすくわくで何をどうしたらいいのか分からず、保育者の声掛けの通り行う姿があったが、回数を重ねていくうちに自分たちで試行錯誤して楽しんでいた。水を使っただけの光あそびで、水あそびの中で鏡や懐中電灯を使うことがなかったので、意欲的に取り組んだ。

・光と影あそび

→カラーセロハンを使って光あそびを楽しんだ。はじめは、カラーセロハンに光を当てることを楽しんでいたが、色を重ねたらどうなるか、光を友だちと重ねたらどうなるか等の声掛けに試して遊んだり、発見したことを友だちに共有し、一緒に楽しむ姿があった。

・ワークショップ

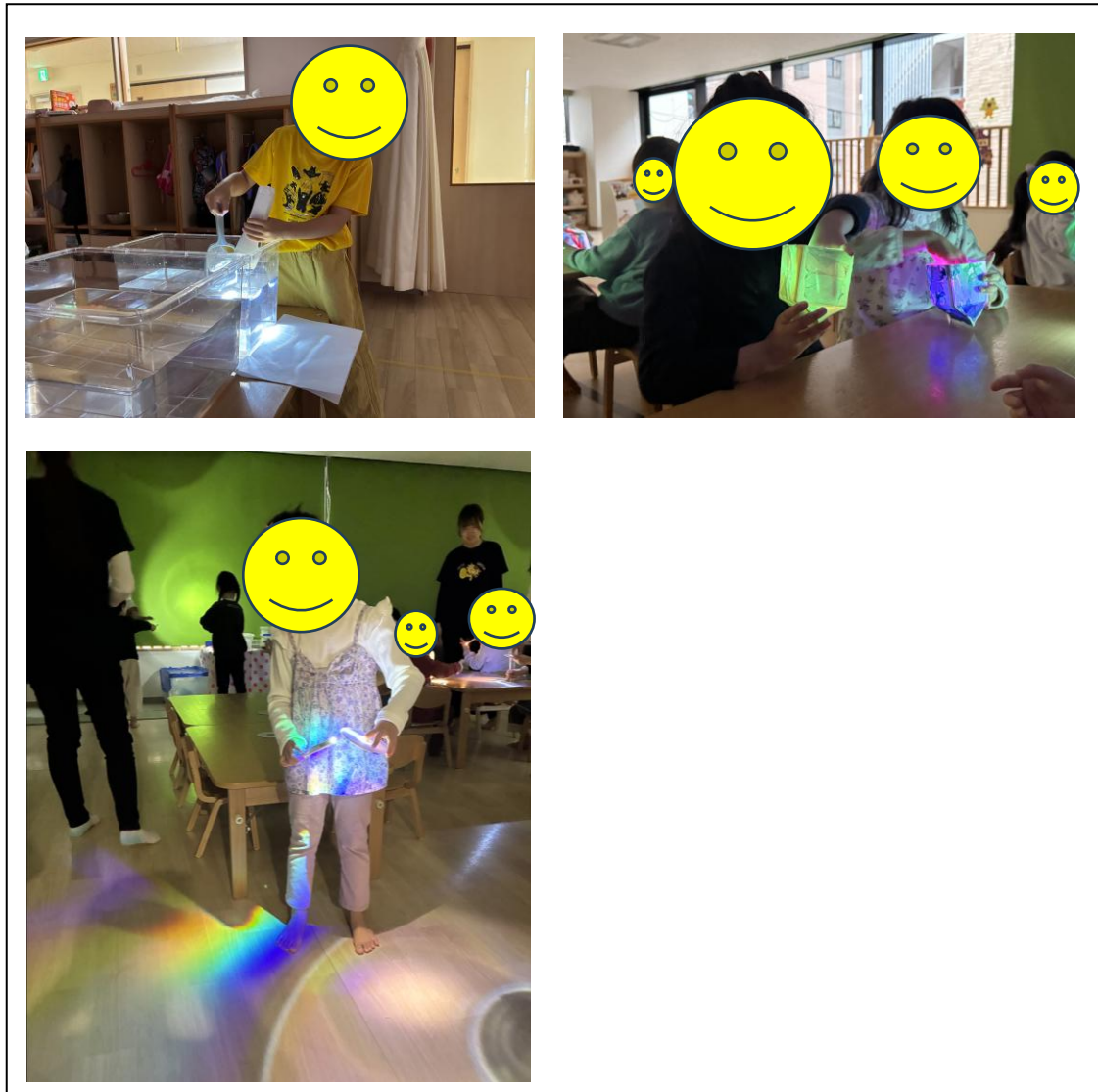
→チャーリー西村さんをお呼びして光あそびを行った。チャーリー西村さんが来てくださる事も楽しみにしつつ、今までとは違った光あそびに興味をもっていた。自分たちで試して遊ぶ姿が多かった。

・ランタン作り

→異年齢で行えるように机を異年齢同士で組んでいたもので、発見したことを教え合い。真似し合いながら、行うことができた。ほとんど保育者の言葉掛けがなくても子どもたち同士で「外から光当てると中が綺麗になるよ！」と発見することができていた。

・万華鏡遊び

→万華鏡の中に入れるパーツの量を調節すること以外は、自分たちで様々試して楽しんでいた。発見したことも共有し、完成した万華鏡を交換し合い、「もっとこうしてみたい」と



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めての活動が多く、子どもと一緒に試行錯誤しながら、活動を取り組んだ。活動後にミーティングをすぐに関き、子どもの姿を捉え、共有したものを活かして、次の活動を行うことができたことが良かった。

今回、光をテーマに行い、日常から光に興味をもったり、自分たちで見つけることが増えたりして、「光あそびがしたい!」と意欲的で主体的に遊びを展開する子どもの姿が良かった。

日常のことに興味をもつことで、他の様々なことにも関心をもち、「やってみたい」「知りたい」が活動前よりも増えたと感じた。